

# たぐすい

TAKUSUI  
12

2007年 December  
No.614



REPORT

いよいよカキの季節です! **カキイベント開催!**

**うちの漁協!** JF大塩町

# CONTENTS

- 2 旬に想う  
顔見世興行  
表紙の言葉
- 3 NEWS  
平成20年4月よりライフジャケットの  
着用義務が強化されます！  
第29回兵庫県民農林漁業祭 開催！
- 4 フリースペースour hour  
ズワイガニ漁解禁！
- 6 TOPICS Part1  
漁船保険制度創設70周年、漁船保険  
中央会創立55周年記念式典 開催！！  
JF 兵庫漁連 前専務理事 戸田 氏 謹氏  
2007年度 漁協運動功労者表彰受賞
- 7 REPORT  
いよいよカキの季節です！カキイベント開催！
- 8 平成19年度 兵庫県JF役職員研修会 開催  
平成19年度 漁協職員研修会 開催
- 9 TOPICS Part2  
平成19年度 漁業者の森づくり活動  
「虹の仲間」で森づくり」実施
- 10 兵庫JCC通信  
お魚バババ Quiz
- 11 行事予定  
大輪田塾だより
- 12 ウチの漁協  
JF 大塩町

## 表紙の言葉



### ありがとう余部鉄橋

1912年より活躍し続けた余部鉄橋がその役目を終えようとしています。文化遺産としての価値もあると言われていますが、長年日本海の潮風に耐えてきた橋梁は、強度の低下が著しく、より安全・安心を求めて橋の架け替えが決定し、今年の5月には工事の起工式が行われました。

2010年までには、風速30mまで運行可能な設計の、新しいコンクリートの橋が架け替えられる予定です。余部に架かる橋は、これからも但馬に住む方々の生活を見守っていくことでしょう。



写真と文 遊方子



白樺の木

## 顔見世興業

◆京都の南座に《まねき》と呼ばれる看板が上がる。恒例の年末風物詩で、顔見世興行に出演の役者名を、肉太で丸みのある字で書きあげている。この《勘亭流》書体は、江戸の末期、書家の岡崎屋勘六という人が考えた書き方で、客が透き間なく入るよう枠一杯を使うという。現代でも、相撲の番付表や社寺に納める千社札に、その伝統を見受けられる。寄席における高座のめぐりには、橋流の寄席文字が使われており、これらを「江戸文字」と呼ぶそうである。江戸という響きには、ピリッと利いた山椒のような快さを感じられる。

◆江戸っ子を「五月の鯉」に譬える。口ばかりというシャレであるが、江戸期から三世代の純粋家系を江戸っ子と呼ぶそう。気っ風の良さが売りで、宵越しの金は持たねえなどと威勢がよくて、古川柳にも「江戸っ子のなり損ないは金を溜め」とある。江戸弁の快さは、快活で威勢のいい所だろう。江戸で人気のあったのが江戸歌舞伎である。演目外題には、縁起の良い奇数の漢字が使われた。奇抜なものに『戀』と書いて「ことばのいと、そのしたところ」と読ませるが、まるで判じ物だ。歌舞伎十八番の「助六」は正しくは『助六由縁江戸桜』で、この芝居の台詞は当時の流行語となつて評判を呼んだ。◆歌舞伎は、出雲の阿国から始まる。そして遊女歌

舞伎、若衆歌舞伎、野郎歌舞伎と展開してゆくが、その底辺には売色の匂いが強く感じられた。演目にはお家騒動と遊郭の話が多い。舞台にのせる時は、一番目狂言が江戸時代より前に題材をとる「時代物」、二番目に「世話物」で庶民を描いた現代劇だった。世話物は江戸の風俗や人情をよく出しており、鶴屋南北・河竹黙阿弥が好んだ世界である。黙阿弥は犯罪者をよく描き、色恋のからむ強請り場が見どころで、殺し場や立ち回りを多く取り入れている。エロとグロ、セックスとパイオレンスが歌舞伎の見せ場で、当時の観衆が望んだものらしいが、大詰めで必ず悪が滅びる筋立てとしたのは、上演禁止を恐れた言い訳であるそうなの…。

◆菅原伝授手習鑑は、現代でも上演回数が多い演目である。三人の作者による合作で、非常に入り組んだ筋立てとなっている。「道明寺」の菅丞相親子、「賀の祝」の桜丸親子、「寺子屋」の松王丸親子、この三人三様の別れを悲劇として構成し、全体では菅原道真に恩を受けた三ツ子の物語になっている。

「車引」は三人兄弟の出会いの場面で、梅・桜・松の橋樑模様が非常に美しく、江戸の人たちも喝采を以て歓迎した。典型的な歌舞伎様式として、浮世絵にもなったが、実際には歴史上の人物を借りた、一種のお伽話なのである。



## 平成20年4月より ライフジャケットの着用義務が 強化されます！

平成20年4月1日より、航行中の小型漁船に1人で乗船し漁ろうする場合は、救命胴衣等を着用することが義務付けられます。

平成19年3月30日付で船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則の一部を改正する省令が交付され、携帯電話などの連絡手段を確保しているか否かにかかわらず、上記漁ろうに従事している場合は、ライフジャケット等の着用が義務付けられることとなりました。この法令に違反した場合、6ヶ月以内の免許停止等の処分対象となりますのでご注意ください。

なお、落水事故における救命率はライフジャケットの着用により飛躍的に伸びるだけでなく、捜索・救助に係る時間と費用の負担を大きく削減できます。対象外の漁業種類においても、ライフジャケットの常時着用をお願いいたします。



船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則の一部を改正する省令新旧対照条文

- 船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則（昭和二十六年運輸省令第九十一号）（遵守事項・船外への転落に備えた措置の関連のみ抜粋）

（傍線の部分は改正部分）

改正案	現 行
（船外への転落に備えた措置） 第百三十七条 法第二十三条の三十六第四項の国土交通省令で定める場合は、次に掲げる場合とする。 一・二（略） 三 航行中の小型漁船に一人で乗船して漁ろうに従事している場合 四（略） 2～4（略）	（船外への転落に備えた措置） 第百三十七条 法第二十三条の三十六第四項の国土交通省令で定める場合は、次に掲げる場合とする。 一・二（略） 三 <u>船外に転落した際に短時間で救助されるため適切な連絡手段を確保せずに、航行中の小型漁船に一人で乗船して漁ろうに従事している場合</u> 四（略） 2～4（略）

## 第29回 兵庫県民農林漁業祭 開催！

去る11月10、11日、明石公園千畳芝にて「第29回兵庫県民農林漁業祭」が開催され、JF但馬、県漁青連、JF兵庫漁連が出店し、県産魚介類の販売を通して、魚食普及の推進と県産魚のPRを行いました。会場では、兵庫県下で生産される水産物をはじめ、農産物、畜産物や兵庫県認証食品のコーナー等が多数出展されており、活気がみなぎっていました。

JF但馬では、6日に解禁を迎えたズワイガニとセコガニだけでなく、ベニズワイガニやカレイの一夜干し等の販売を行いました。県漁青連では、ハモ鍋やガザミ汁等の販売コーナーを設け、漁業者が自らの手で県産魚のPRを行いました。また、JF兵庫漁連では、恒例のタコやイカナゴの揚げ物と、明石ダコやわから煮等のパック商品を販売しました。どのコーナーも終日大盛況で、売り切れ商品が続出するほどでした。

同日、兵庫県立但馬ドームでは「但馬まるごと感動市」、姫路市園芸センターでは「姫路市農林漁業まつり」が開催され、県下各地において漁業者・漁協系統団体による県産魚のPR・販売が行われました。



魚の香りに誘われて、JF但馬・JF兵庫漁連ブースは大人気！！



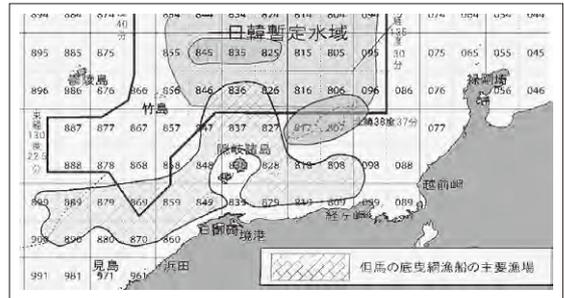
ハモ鍋には行列も！県漁青連による販売は好評でした

# ズワイガニ漁解禁!



去る、11月6日(火)、兵庫県の日本海を代表するズワイガニ漁が解禁となり、本県の沖合底びき網漁船は、主に浜田沖海域、隠岐諸島周辺や本県沖で操業しています。

解禁日には、各漁港に近い漁場で操業した漁船が昼までに入港し、昼より但馬の各漁港にてセリが開催されました。本県における11月中の状況ですが、雄ガニは近年比較的安定した好漁が続いており、雌ガニは近年最高の漁獲量となりました。雄ガニの単価については前年並み、雌ガニの単価についてはやや低調でした。冬の鍋シーズンを控え、今後の動向に期待されます。



今回の取材でお世話になった船

## JF 浜坂町所属 《美寿丸》

(有)海王丸漁業 濱根秀樹 船長

沖合底びき網漁船      FRP製    19t  
 最大速力 11ノット      乗組員   7名

### 主な漁獲対象

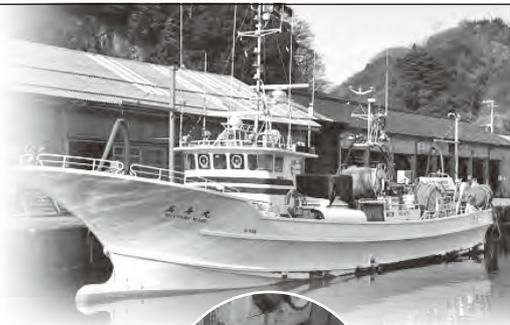
カニ類 (水深 200~300m)      カレイ類 (300~500m)  
 ハタハタ (200m付近)      ホタルイカ等

### 漁師で良かったこと

水揚げが上がったときの嬉しさ  
 男のロマン

### 困っていること

左写真の混入物 ▶  
 魚価安・燃油他資材の高騰・船員の確保



エチゼンクラゲ  
 この時期はまだ  
 小型だそうです



海洋ゴミ  
 ビニール・プラスチック・  
 漁具など

## JF 浜坂町 ズワイガニ初セリ



帰港した船は急いで出漁の準備をします



いよいよ今期のセリがスタートしました



セリの合間も次々と  
 カニが並べられます



13時、川越一男 組合長による1本締めによりセリが始まりました。セリ人が威勢良く掛け声を上げ、次々とズワイガニが競り落とされていきました。浜の女性達は、セリの合間も、各等級に細かく選別したカニを市場に並べていました。初セリということもあり、仲買や卸業者も多数来場し、市場は活気に溢れていました。

# 沖合底びき網漁業の操業レポート



① 解禁前夜、家族に見送られて漁場へ出発します



② 解禁時は船団を組んで漁場へ行きます



③ 漁場に着くとフロートを投入し、ロープを送り出します



④ 漁場を回り込みながら網を入れ、フロートを引き上げます



⑤ 40~45分間、ゆっくりと網を曳きます



⑥ ブリッジ内には、電子機器が多数備え付けてあります



⑦ いよいよロープを引き上げていきます



⑧ 網はネットローラーで巻き上げていきます



⑨ 袋網をウインチで吊り上げて、選別台へ



⑩ 雄ガニ、雌ガニの他にアカガレイも入ります



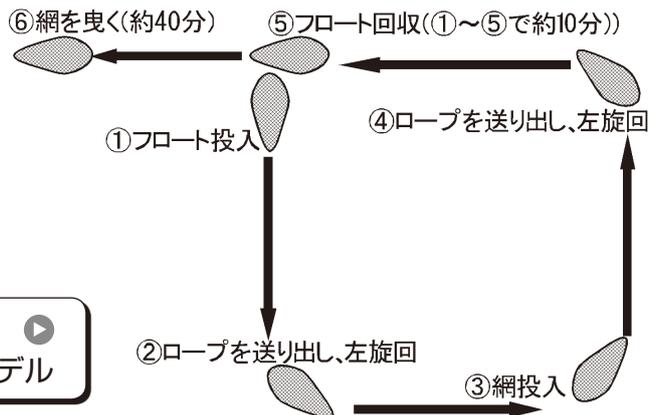
⑪ 選別しながら次の漁場へ移動します



⑫ 選別した魚種から船倉へ入れていきます ⇒③へもどる



かけ回し  
底びき網漁法のモデル



# 漁船保険制度創設70周年、 漁船保険中央会創立55周年記念式典 開催!!

漁船保険制度創設 70 周年、漁船保険中央会創立 55 周年記念式典が、平成 19 年 11 月 16 日（金）、東京品川プリンスホテルプリンスホールにおいて、若林正俊農林水産大臣並びに山田修路水産庁長官を始め水産中央団体代表者の臨席に併せ、全国 45 漁船保険組合の役職員及び漁業協同組合長等総勢約 350 名の参加により厳粛裡に執り行われました。

漁船保険制度は、昭和 12 年に「漁船保険法」として施行され、第二次世界大戦等の激動の時代を経て、昭和 27 年には漁業者救済を目的とした国の政策保険としての「漁船損害補償法」として新たに生まれ変わり、全船義務加入による漁船保険料に対する国庫負担の新設に加え、漁船保険中央会の創設に至ったところであり、その後の経済発展に伴う時代の変遷の中で、漁業者のニーズに併せた制度改正を数度にわたり実施し現在に至っています。

式典に先立ちまして、農林水産大臣表彰（団体 5、個人 5）並びに水産庁長官表彰（団体 24、個人 11）、漁船保険中央会長表彰（団体 24、個人 29）等の表彰状受賞式が行われ、兵庫県内海漁船保険組合からは、東二見漁業協同組合が農林水産大臣表彰、江

井ヶ島漁業協同組合が水産庁長官表彰、丸山漁業協同組合が漁船保険中央会長表彰をそれぞれ受賞されまし

たので、心よりご祝意を申し上げますところでありませう。

なお、これらの表彰については、過去 5 年間ににおける漁船保険の「加入率」、「付保率」、「損害率」、「事故率」の全ての項目で優秀であった漁協を表彰するものであり、厳選の結果、3 JF が受賞の栄に浴されたものであります。

式典当日は、3 JF の組合長に出席をいただき、特に JF 東二見の岸利夫組合長には、若林農林水産大臣から直接表彰状授与が行われました。

受賞されました JF には、今後も漁船保険事業の拡充発展にご協力を賜りますと共に、益々漁協事業のご発展を衷心よりご祈念申し上げます。



若林農林水産大臣から表彰状を授与される JF 東二見の岸組合長

## JF兵庫漁連 前専務理事 戸田 氏 認 氏

### 2007年度 漁協運動功労者表彰受賞



表彰式では若永浩美 農林水産副大臣による祝辞に続き、JF全漁連 服部郁弘会長より功労賞が授与されました。功労者を代表して西銘仁正 JF沖縄信漁連会長が受賞の喜びを述べ、引き続き記念撮影と祝賀会が催されました。

情報各所で活用し、水産業界全体の健全な発展に大きく貢献したこと等多くの功績が認められ受賞されました。

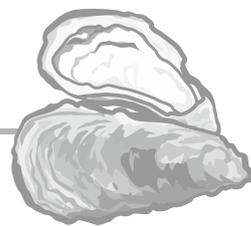
と③兵庫県の水産に係る各種委員会委員を歴任し、様々な情報を各所で活用し、水産業界全体の健全な発展に大きく貢献したこと等多くの功績が認められ受賞されました。



11月21日（水）、東京・虎ノ門パストラルにて 2007年度（第22回）漁協運動功労者表彰式・祝賀会が開催され、本県ではJF兵庫漁連前専務理事の戸田氏認氏が、①40年近く会員漁協の発展と漁業者の暮らしの安定に努め、県下に3組織あった連合会の合併に尽力し、連合会並びに漁業系統の経営基盤の強化に大きな役割を果たしたこと②国際的な漁業規制の強化、資源の減少、魚価の低迷など漁業を巡る環境が厳しさを増す中、常に他の系統団体との連携を心がけ、会長、副会長を的確に補佐し、漁業者の目線で課題の解決に心血を注ぎ、その働きは衆目が認めるところであったこと



# REPORT



いよいよカキの季節です！

## カキイベント開催！

いよいよ寒くなってまいりました。冬の鍋には但馬の横綱「ズワイガニ」、淡路の「ハモ」、「カワハギ」や「アナゴ」もありますが、なんとと言っても西播では海のミルク「カキ」が欠かせません。

そんなカキのPR活動として、11月23日(金)、梅田スカイビルにて西日本の主要な生産地が集まり「カキの日」イベントを行いました。石川から長崎までのJFグループが参加し、焼きガキ、カキフライ、カキの佃煮やカキの味噌汁等を振る舞い、非常に好評でした。

今シーズンは、今のところ高水温の影響なのか、水揚げ量が昨年を下回っていますが、年明けには例年通り、各地でカキ祭りが開催される予定です。1月20日(日)のJF室津を皮切りに、1月27日(日)に相生 野瀬公園特設会場、2月3日(日)に坂越海の駅にてカキ料理の販売や試食会、殻付きカキやむき身の特売が計画されています。

この機会に是非プリプリに肥えた海の恵み「カキ」を味わってください。



1月20日(日)  
室津



1月27日(日)  
相生 野瀬公園特設会場



2月3日(日)  
坂越 坂越海の駅



### 出張やお仕事でどうしてもカキ祭りに行けない皆様に朗報！

#### JF 兵庫漁連の直販プロジェクトチームがパワーアップ！

とれぴち号が3台になって、より多くの場所で販売できるようになりました。当然カキも取り扱っております。お近くにお住まいの方々も、是非ご利用下さい。



#### 基本販売予定表(11月現在)

日曜日	山田錦の郷
月曜日	ふぁーみん SHOP かんき・ふぁーみん SHOP 高砂
火曜日	三木みらい館・武庫の郷・ふぁーみん SHOP 二見
水曜日	加西愛菜館・ふぁーみん SHOP 魚住 尼崎米工房 (隔週)
木曜日	明石フレッシュモア・さんパティオおの
金曜日	ふぁーみん SHOP 播磨・パスカルさんだ JA 兵庫西花田
土曜日	三木みらい館・宝塚西谷夢市場

※詳しくは、JF 兵庫漁連ホームページで「漁連の魚屋」をチェックしてください。祝日や天候により、販売内容や予定を変更する場合があります。

## 平成19年度 兵庫県JF役職員研修会 開催

11月28日(水)、メリケンパークオリエンタルホテルにて、平成19年度兵庫県JF役職員研修会が開催され、県下各JFや県水産課、系統団体より約90名の出席がありました。

開会に際し、戸田氏認(勲)兵庫県水産振興基金専務理事は「豊穰の海の再生に向けて『里海』という言葉が閣議決定にも明記されている。漁業者がそれを学び、地域との連携を取ることが必要である」と語られ、来賓を代表して大谷和夫 兵庫県農林水産部水産課長が「海を熟知する漁業者がリードして、豊かな海の再生活動を一般市民と行うことは、政治的にも大きな力となります」と挨拶されました。



里海について  
熱く語る柳教授

研修のテーマ1では「森・川・海の連携について」と題して、荻原吉弘 監督の記録映画『あらかわ』を上映しました。荒川の源流部におけるダム建設を巡り、上流から河口に広がる東京湾まで、それぞれの水と住

民とのつながりを描いた作品で、森と山の大切さを描いた作品でした。

テーマ2では「里海構想について」と題して、瀬戸内海研究会議の副会長を務められる、九州大学応用力学研究所の柳哲雄教授を講師に迎えました。柳教授は「但馬沿岸も瀬戸内海も東シナ海の影響が大きく、地域全体の環境としてとらえるべきである。『里海』とは、人の手が加わることにより生産性と生物多様性が高くなった沿岸海域のことで、その維持と管理には、その地域に住む一般市民との協力が不可欠である」と講義されました。



## 平成19年度 漁協職員研修会 開催

11月19日(月)、兵庫県水産会館にて平成19年度漁協職員研修会が開催され、「おもしろ年金セミナー～知っ得、納得、年金基礎知識～」をテーマに、社会保険労務士原令子事務所の原令子所長を講師に迎え、県下各JFや県水産課、系統団体より50名を超える出席がありました。

研修会では、主催者として戸田氏認(勲)兵庫県水産振興基金専務理事が開会し、大谷和夫水産課長が挨拶を述べられました。引き続き、原先生より年金の制度と効果的な利用方法についての研修となりました。年金の制度といえば複雑で、難しいイメージがありますが、巧みな話術とジェスチャーを交えた内容に、出席者は楽しく学んでいました。



年金について  
解りやすく説明される  
原 令子先生

時が経つのを  
忘れるほど  
楽しい研修でした



# 平成19年度 漁業者の森づくり活動 「虹の仲間で森づくり」実施

去る、12月1日（土）、グリーンピア三木にて「平成19年度漁業者の森づくり活動『虹の仲間で森づくり』」が開催されました。本年度は県下漁業系統団体だけでなく、同じ協同組合の仲間である生活協同組合コープこうべからも参加・協力をいただき、男女・子供ら100名以上の参加者が間伐作業で汗を流しました。



森は自然に任せておくと、背の高い樹木や常緑樹により地表の日光が遮られ、低い木の成長を阻害する事から、生物の多様性が低下し、保水性も悪くなります。間伐作業とは、高齢の樹木や常緑樹を伐採することにより、地表に届く光量を確保し、生物循環を促進する為の作業です。この間伐により多様化した森は、豊かな腐葉土を育み、保水力を高め、その麓には栄養豊富な水をもたらします。

参加者は、森林林業技術センター研究員から森と海の関係の説明され、その後数グループに分かれて間伐作業に移りました。普段、森に入る機会の無いメンバーは、NPO法人「ひょうご森の倶楽部」の方々に指導を受けながら、伐採する木を剪定し、汗だくになりながら灌木を倒し、蔓を切り、奮闘していました。うっそうと茂っていた森は、間伐により地表に陽光が入る爽やかな森になり、この日の作業を終えました。

引き続き、お昼には兵庫県の魚を食材にコープこうべとの交流会が開かれました。バーベキューにはタコやハタハタ、ヒイカ、カキ。また、八宝鍋やポイルセコガニも振る舞われ、大作業のあと、お腹が空いた参加者は、海の恵みに舌鼓をうち、JF参加者から魚の話を聞きながら、楽しい「森づくり」の1日を終えました。



働いた後の海の幸は絶品でした



指導員の説明を真剣に聞く参加者



伐採した木は細かく切って積み重ねておきます



## JFマリンバンクの住宅ローン

住宅のご新築
住宅・マンションのご購入
リフォーム（増改築・下水道）
土地のご購入
他行からの借換

本会ではみなさまのライフプランに応じて各種住宅ローンをご用意しております。

<b>【10年固定金利型】</b>	<b>2.800%</b>
<small>当初10年間を固定金利でご返済いただき、10年後の応答日に固定金利が変動金利をお選びいただけます。</small>	
<b>【変動短プラ連動型】</b>	<b>1.875%</b>
<small>金利実勢に応じて、年2回の見直しを行いご返済いただけます。</small>	
<b>【全期間固定型】</b>	<b>3.800%</b>
<small>全期間を通して、当初お約束の固定金利でご返済いただけます。</small>	

※記載している金利は、平成19年7月1日現在の最優遇金利です。

ご融資の内容・お取引の状況によって金利優遇いたします。  
詳しくは窓口にお問合せください。

**JF** 兵庫県信漁連  
JFマリンバンク

## 育農塾で新たなスタート をきった塾生

JA兵庫南は2007年7月に(株)ふぁーみんサポート東はりまを設立しました。同会社は、東播磨地域の3市2町(明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町)を対象に放棄田の解消および新規就農者の育成により、地域農業の活性化をめざします。

後継者不足等による未利用農地が増える中、農業を維持・発展させるため、10月1日には「かこがわ育農塾」を開講。同塾は生産技術を習得するための実習や、農業経営に関する基礎的研修により経営感覚に優れたリーダーとなる農業者を養成します。

30才代から60才代の塾生4名は、同社・中森均専務をはじめ社員らの指導を受けながら、10月2日からキャベツの定植や、ほうれん草の種まき、遊休用地の草刈、同月17日には加古川市神野町西之山の圃場で稲刈りを行いました。

塾生らは「コンバインを操作したのは初めて。この1年を通してたくさん学び、安心・安全な農産物作りに励みたい」「農業は、実際にしてみるととても



コンバインで稲刈りをする塾生

大変。いろいろ学んでいきたい」「一生懸命勉強しています。目標に向かって頑張っていきます」「何もかもが初めてで楽しい。今後も食にかかわる仕事につきたい」と抱負を語りました。一方、中森専務も、「1年後、講座生が農業で自立できるよう丁寧に指導していきたい」と意気込みを語られました。

<http://www.zenchu-ja.org/>

## ラインの館でオータムコンサートを 開催しました

10月23日(火)に、北野異人館「ラインの館」にて、オータムコンサートを開催しました。このコンサートは音楽を楽しんでいただくとともに、よりラインの館に親しみを感じていただこうと、昨年からはじめたものです。

今回はマンドリンとギターによる二重奏で、イタリア民謡などを中心になじみ深い曲が次々に演奏されました。「マンドリンの生演奏は初めて聴きましたが、優雅な音色がすばらしい」「ギターの響きに感動しました」という感想が多く寄せられました。また、ラインの館については「館だけでなくお庭も素敵です」といった声を頂戴するなど、ゆっくり楽しんでいただけたようです。



息のぴったりあったお二人の演奏

当館は無料開放されており、地域の方々による絵などの作品の展示も行っております。いつでも気軽にお立ち寄りいただけますが、まだ当館をご存知ない方も多く、こういったイベントを通じてより一層のご利用を目指していきたく思います。

(通信員: 鹿田 裕子)



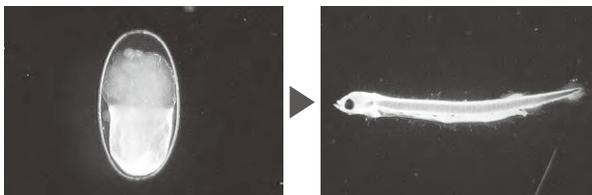
和やかに聴き入る観客の皆さん

<http://www.co-op.or.jp/jccu/>

## お魚バブバブ Quiz

今回は兵庫県で多く漁獲される魚を紹介しします。

これは一体何でしょう？



写真提供: 兵庫県立水産技術センター

魚類は、<sup>ふか</sup>孵化直後から各ヒレがしっかりする直前までの状態を<sup>しぎよ</sup>仔魚、その後<sup>おんぎよ</sup>親魚と同じ形に育つまでの<sup>ちぎよ</sup>発育期間を稚魚と呼びます。孵化直後の仔魚は、親魚と似ていない場合も多く、面白い特徴がある種類も多く存在します。

ヒント

- ① 兵庫県では呼び方の異なる稚魚が、多く漁獲されています。
- ② 昔は春と秋にたくさん獲れましたが、最近は両漁期ともに漁獲が減少しています。
- ③ 稚魚は主にボイルした後、天日干しされ、出荷されます。

細長い卵が特徴的です。国内産が品薄であることから韓国産やインドネシア産も販売されています。答えは、編集後記の下部に掲載しています。

みんなも  
考えてみよう!





## 行事予定

<変更になる場合があります>

JF兵庫漁連		
12月	17日(月)	第2回のり入札会
	18日(火)	流通加工事業審議会(大会議室)
	26日(水)	理事会(予定)
	27日(木)	第3回のり入札会
1月	8日(火)	第4回のり入札会
	18日(金)	第5回のり入札会
	29日(火)	第6回のり入札会

JF兵庫信漁連		
12月	21日(金)	理事会
	26日(水)	理事会(予定)

振興基金		
12月	18日(火)	13:30～ 大輪田塾
2月	6日(水)	11:00～ 山田記念賞(ポートピアホテル)

JFぎょさい兵庫		
12月	26日(水)	理事会(予定)

兵庫県		
12月	20日(木)	11:00～ 但馬海区漁調委(但馬漁業センター)
	25日(火)	10:30～ 常任委員会

# 大輪田塾だより



11月13日(火)、兵庫県水産会館にて大輪田塾が開催され、JF兵庫漁連の突々淳 参事が「漁連事業の概要」と題して、また、生活協同組合コープこうべ 生鮮食品部の坪伸介 水産チーム担当係長が「水産物の流通消費」と題してそれぞれ講義を行いました。「漁連事業の概要」では、県下漁業の推移と、それに対応した購買・のり海藻・流通加工・指導の各漁連事業について説明されました。漁業者がさらされている厳しい現実と今後の展望を基にして、計画・運営されている漁連各事業の取り組みを聞いた塾生は、これからの組合運営の厳しさを実感していました。

「水産物の流通消費」では、コープこうべの無店舗事業(個別宅配)における販売実績の変化や消費者動向、ニーズの変化などについて語られ、主婦の調理離れが深刻な状況にあることを、自らの経験も交え説明されました。これからの販売を回復するためには、水産以外の分野においても、料理法を指導する食育運動が必須であることを力説されました。



大輪田塾についてはJF兵庫漁連ホームページ

<http://www.jf-net.ne.jp/hggyoren> より《会員・職員》のページへ ▶ パスワードを入力し《大輪田塾》のページへ

## 編集後記



食欲の秋も、あっという間に過ぎ冬が到来しました。  
 気がつけば、今年もあと少しで終わりですが、自分を振り返ってみますと、今年の目標は何だったっけ?と首を捻る始末。皆様はいかがでしょう。  
 今年、アメリカにおける住宅ローンの大規模な焦げ付きが、世界的な金融の混乱を招きました。ローン会社が自己防衛のために掲げる、「資金計画(目標)はしっかり立てましょう」の言葉は自分にとっても、周囲の人にとっても重要です。  
 今年も一年間、御愛読いただき誠にありがとうございました。

拓水は JF 兵庫漁連 HP にて掲載中です ▶ <http://www.jf-net.ne.jp/hggyoren/>

P10 お魚パズル Quiz 答え 【カタクチイワシ】

# 伝統ある町で地びき網体験が伝える 漁業の魅力



No.51

## JF大塩町



姫路市大塩町は、その名の通り、昔は広大な塩田地帯が広がり、塩の産地として栄えた歴史を持っています。また、山一面が白一色で染まるほど、兵庫県花であるのじぎくが自生する町として全国的に知られるほか、秋祭りに大塩天満宮で披露される、兵庫県重要無形民俗文化財指定の毛獅子による舞も有名です。このように、豊かな自然と文化に育まれた歴史深い町、それが大塩町です。

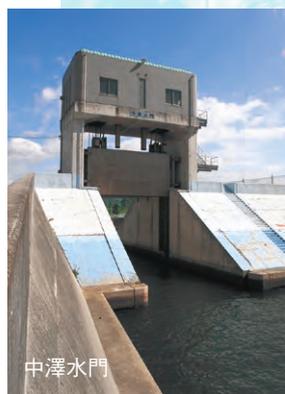


大塩天満宮

この町にある大塩町漁業協同組合では、主力である底びき網漁をはじめ、定置網漁、刺し網漁、かご漁、たこつぼ漁、一本釣り漁などの漁業が展開されています。夏にはタコ、秋はカニ、冬場はエビ・カニ・カレイなどの魚が獲れ、さらに真冬の1～3月にはワカメ養殖も行っています。特にワカメ養殖は、水質状態の良し悪しによって生育に影響が出るため、水質管理には慎重を期さなければならないそうです。しかし、

そうした成果もあり、大塩のワカメは生で出荷できるほど鮮度がいいのが自慢です。

また、大塩の漁業を語る上で欠かせないのが、「アサリの宝庫」としての歴史です。今から20年以上前は、朝6時からたった3時間の漁で、4～500キロものアサリが獲れるほどの大漁ぶりだったとか。その豊富な量に加え、さらに特筆すべきはアサリの質の良さ。身がぎゅっとしまった貝からは、水が白く濁るほどの汁があふれ出し、濃厚な旨みがつまっているのが、大塩のアサリの特徴でした。遠浅の海で、豊かな自然環境にあった大塩の漁場だ



中澤水門



からこそ、こうした貝類やエビ類が豊富だったわけですが、工業化の影響で環境が一変し、アサリ・車エビともに数が減少してしまった。現在、組合員の皆さんからは、当時の状況を懐かしむ声が聞かれます。そこで、もう一度あの豊かだった海を取り戻そうと、JF大塩町では県からの許可を得て、毎年アサリの育成調査を行っています。また、アサリはもちろんのこと、車エビ、ガザミ、ガシラ、メバル、マコガレイ、ヒラメ、赤貝などを放流するなど、豊かな海を取り戻すための活動に力を注いでいます。

さて、春には潮干狩り、夏は海水浴が楽しめる播磨灘に面した大塩海岸では、JF大塩町が主催し、4月から9月にかけて地曳網体験を行っています。漁の面白さを実際に体験できるとあって、親子連れや小学校・企業のレクリエーションなど、多くの人々に広く親しまれています。このイベントは、日頃、自然との触れ合いが少なくなっている我々現代人にとって、貴重な体験ができる絶好の機会です。このため、毎年このイベントを楽しみにしているリピーターも増え、人気は上昇中！また、自ら獲った新鮮な魚を、漁協の皆さんがその場で調理してくれるのも好評の秘密です。こうした地域の人々との触れ合いを通じた取り組みが、漁業の魅力を知ってもらうためのきっかけ作りになっているのではないのでしょうか。



このように大塩の漁業は、近年復活してきているのじぎくの群生や、どの地域にも負けない伝統的な毛獅子に代表される豊かな自然・文化とともに歩んできました。これからもJF大塩町の組合員の皆さんは、こうした大塩の歴史に誇りをもちながら、地曳網体験などを通して、地域の人々にもう一つの伝統である漁業を伝えていけることでしょう。

### <漁協メモ>

大塩町漁業協同組合  
代表理事組合長 山南 隆  
組合設立日 昭和24年10月29日  
組合員数 正組合員27名、  
准組合員20名/計47名

